

2024年1月29日
Peach Aviation 株式会社

桃種 テイクオフ！ パイロットチャレンジ制度 1 期生が副操縦士に昇格 ～約 5 年の訓練を経て、新たなプロフェッショナル達がアジアの空へ～

- ・パイロットチャレンジ制度 1 期生 4 名が全課程のプログラムを修了
- ・2024 年 1 月、約 5 年の訓練を経て、副操縦士に昇格
- ・2024 年 4 月には、パイロットチャレンジ制度の 5 期生が入社予定

Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、代表取締役 CEO: 大橋 一成)は、パイロット育成プログラム「Peach パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」の 1 期生 4 名が副操縦士に昇格したことを発表しました。



「Peach パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」の 1 期生

「Peach パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」とは、パイロットを目指す方々の経済的負担を軽減した上で実践的な訓練プログラムを提供し、パイロットの育成を行う制度です。この制度は、ANA グループのサポートを受け、Peach が選定した高い水準の訓練プログラムのもとで、エアラインパイロットに必要なライセンスを取得するものです。本制度の訓練生は、社内では成長の可能性と希望に満ちた「桃の種(通称: ももたね)」の愛称で親しまれています。

2019 年 4 月に桃種 1 期生として入社した 4 名は、海外での EASA ライセンス^{*1} 取得訓練と、国内で実施する JCAB ライセンス^{*2} 取得訓練を終え、パイロットへの道のりを着実に歩んできました。途中、コロナ禍による計画変更に見舞われながらも、2022 年 3 月からは副操縦士昇格プログラムを通してシミュレーターを用いた型式限定^{*3} 取得訓練、および実機での路線訓練を実施してきました。そして 2024 年 1 月、約 5 年の訓練期間を経て任用審査^{*4} に合格し、副操縦士に昇格しました。

任用審査に合格した桃種 1 期生は、初めての訓練生という立場上、自身のレベルが適切であるのかを比較することが難しい環境下でしたが、互いに切磋琢磨し、厳しい訓練を乗り越えてきました。アジアの空へ羽ばたき始めた 4 名は、訓練での経験を決して無駄にせず、これからの空の安全を支えるプロフェッショナルとして、成長を続けていきます。

現在、パイロットチャレンジ制度は 4 期生までが入社し、年齢や経歴の異なる訓練生が日々訓練に励んでいます。今年 4 月には新たに 5 期生が入社する予定です。さらに、1 月から 2 月にかけて「Peach パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」の説明会を開催します。詳細は次項をご覧ください。

Peach は、今後もパイロットを目指す夢と情熱を持った方々をサポートし、アジアの空の舞台へ挑戦する仲間として共に成長を続けます。そして、一人でも多くのパイロットを育成することにより、将来の航空需要の拡大に貢献してまいります。

^{*1} EASA ライセンス: EASA(欧州安全機関)加盟各国が発行するライセンス

^{*2} JCAB ライセンス: JCAB(国土交通省航空局)が発行するライセンス

^{*3} 型式限定: 特定の飛行機を操縦するためのライセンス(例: エアバス式 A320 / A321 型)

^{*4} 任用審査: 副操縦士として必要な技量と知識を有しているか確認する審査

<Peach パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS について>

https://recruit.flypeach.com/recruiting_momotane/index.html

<説明会の詳細について>

<https://recruit.flypeach.com/>

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は 2012 年 3 月 1 日に運航を開始しました。現在、新千歳、仙台、成田、中部、関西、福岡、那覇の 7 カ所を拠点空港とし、国内線 25 路線、国際線 12 路線を運航しています。今後も Peach は、より気軽な空の移動手段として人々の往来を支え、地域活性化に貢献するとともに、お客さまに喜んでいただける、さらには愛していただけるエアラインを目指してまいります。